夢に向かって将来を切り拓く子どもに

教育振興大綱を策定

市では、教育の振興に関する施策を総合的に推進していくため、その目標や施策の根本となる方針を定めた「教育振興大綱」を策定。大綱では「ふるさと舞鶴を愛し夢に向かって将来を切り拓く子ども」の育成を「育てたい子ども像」に掲げ、基本理念を「0歳から15歳までの切れ目ない質の高い教育の充実」として、その実現に向けて5つの基本方針を示しています。

なお、パブリック・コメント手続き制度（市民意見提出制度）に基づき意見を募集した結果、特に意見はありませんでした。

《閲覧できます》

大綱は、教育総務課や市政情報コーナーなどで閲覧できます。市ホームページにも掲載。

▼詳しくは、教育総務課（☎66・1070）へ。

教育振興大綱の概要

育てたい子ども像

ふるさと舞鶴を愛し 夢に向かって将来を切り拓く子ども

基本理念

0歳から 15 歳までの切れ目ない質の高い教育の充実

基本方針

①生きる力を育み子どもの夢をかなえる教育の推進
- ◇切れ目ない教育の推進
- ◇質の高い乳幼児教育の推進
- ◇個性を伸ばし夢をかなえる学校教育の充実
- ◇心身ともに健全な子どもの育成

②子どもを育てる教育環境の充実
- ◇教師等の資質能力の向上と指導体制の充実
- ◇学校等における教育環境の充実
- ◇高等学校等との連携の推進

③ふるさとを愛する心を育む教育の推進
- ◇ふるさと学習の推進
- ◇グローバル社会に対応する教育の推進

④地域社会で支える教育と子育て支援の充実
- ◇家庭・地域との連携による教育と子育て支援の推進
- ◇社会教育団体等との連携の推進

⑤心豊かな生涯学習の推進
- ◇市民の学習活動の推進
- ◇市民スポーツの推進

質の高い乳幼児教育を目指して

乳幼児教育ビジョンを改訂

市では、人格形成の基礎が培われる大切な乳幼児期に育てたい力や心、乳幼児期の教育の方向性などを明らかにした「乳幼児教育ビジョン（計画期間：2019年度から5か年）」を改訂。主体性を育む乳幼児教育をさらに推進していきます。

なお、パブリック・コメント手続き制度（市民意見提出制度）に基づき意見を募集した結果、特に意見はありませんでした。

《閲覧できます》

ビジョンは、幼稚園・保育所課や市政情報コーナーなどで閲覧できます。市ホームページにも掲載。

▼詳しくは、幼稚園・保育所課（☎66・1009）へ。

乳幼児教育ビジョンの概要

育てたい子ども像	◇主体的に取り組む子ども　◇自分も友達も大切にする子ども ◇意欲的に遊ぶ子ども
基本方針	①質の高い乳幼児教育の充実
	◇主体的な遊びと体験の充実　◇土台となるからだとこころの育成 ◇発達に応じた支援の充実　◇保育者の質の向上の推進 ◇ふるさと舞鶴を愛する“心を育てる”乳幼児教育の推進
	②保育所・幼稚園・認定こども園、小学校、中学校の連携の充実
	◇園・校種を越えた異年齢交流の充実 ◇乳幼児期の学びと育ちをつなぐ連携活動の推進
	③地域ぐるみの乳幼児教育の推進
	◇保育所・幼稚園・認定こども園と家庭・地域の連携の推進 ◇それぞれの役割と連携の推進

持続可能な社会を引き継ぐために

第4期 舞鶴市地球温暖化対策実行計画を策定

市では、市の事務・事業から発生する温室効果ガスの削減など環境負荷を低減するため「第4期舞鶴市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定。

計画では、温室効果ガス排出量について2030年度までの長期目標と2022年度までの中期目標を設定し、その達成に向けた7つの基本方針に基づく取り組みや環境マネジメントシステムによる進捗管理、計画推進のための実施体制などについて示しています。計画の概要は下表のとおり。

《閲覧できます》

計画は、生活環境課や市政情報コーナーなどで閲覧できます。市ホームページにも掲載。

▼詳しくは、生活環境課（☎66・1064）へ。

第４期舞鶴市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の概要

温室効果ガス削減目標（2013 年度比）

◇総排出量
2022 年度までに 20.8パーセント、2030 年度までに 32.3パーセントの削減
◇エネルギー起源 CO2（※）
2022 年度までに 25.2パーセント、2030 年度までに 40.0パーセントの削減
※化石燃料の燃焼や電気の使用等に伴って排出される CO2

目標達成に向けた取組事項

◇省エネ・省資源の取組の推進◇施設・設備の省エネ対策◇再生可能エネルギーの導入拡大◇グリーン購入、環境配慮契約の推進◇環境マネジメントシステムの運用◇その他の環境負荷低減に向けた取組◇職員の環境意識啓発

ごみ処理手数料の見直しなど

廃棄物減量等推進審議会（第5期）へ諮問

3月25日に開催された第5期舞鶴市廃棄物減量等推進審議会で、多々見市長から山川肇会長（京都府立大大学院教授）へ、ごみ処理基本計画の中間見直しとごみ処理手数料の見直しについて諮問しました。

会議では、事務局から諮問理由や市のごみの状況について説明し、不燃ごみの有料化や収集頻度の見直しについて、意見交換が行われました。

《生活環境課》

▲会議の様子

赤鬼をイメージした丹鉄のニューフェイス

京都丹後鉄道に新型車両が登場

5月18日㈯に京都丹後鉄道に新型車両が登場します。新型車両の営業運転は11時13分から開始します。

【車両デザイン】

丹後に残るいにしえからの伝説を感じさせる鳶赤（とびあか）色のシックな車体で、つり目型のヘッドライトは大江山の赤鬼を表現しています。

▼詳しくは、平日9時～18時に京都丹後鉄道（☎0772・25・2323）へ。

《企画政策課》

▲新型車両 KTR300 形

再見（ツァイチェン）！你好（ニーハオ）！国際交流員がバトンタッチ

曲振波（きょくしんは）さんが着任

市では、友好都市の中国・大連市との交流の架け橋として、平成 17 年度から毎年国際交流員を任用しています。このたび、14 代目の朴蓮姫（ぼくれんき）さんが離任し、15 代目の曲振波さんが新たに着任しました。

曲さんは、４月から来年４月までの１年間、舞鶴で暮らし、大連市との友好交流の促進や中国語講座、出前講座を通じた中国・大連情報の発信、通訳・翻訳・クルーズ客船の乗客対応などに取り組みます。

《みなと振興・国際交流課》

中国語講座の受講生を募集

初級の中国語や中国の文化などを学びながら「生の中国」に触れることができます（29ページに関連記事）。

【日時】5月 21 日から毎週火曜日、18 時 30 分～ 20 時
【場所】西総合会館
【問い合わせ先】
NPO 法人舞鶴国際交流協会（☎ 75•8801）

出前講座もご依頼ください

大連市文化の講座などの依頼も受け付け中。

【問い合わせ先】
みなと振興・国際交流課（☎66・1037）

INTERVIEW

▲曲振波さん

舞鶴市の皆さん、ニーハオ！

大連から参りました曲振波と申します。国際交流員として自然豊かで四季と日本海の魅力をたっぷり味わえる舞鶴市で仕事ができることになり、心の底から嬉しく思います。

これまで大連市人民政府外事弁公室領事処で勤務し、在大連日本国領事事務所、在瀋陽ロシア総領事館などとの交流やイベントの企画・実施などを担当していました。

私は、もともとロシア語を専攻しており、日本語は独学で勉強したので、まだまだ勉強中の身ですが、できる限り舞鶴市のことを大連に、また中国はもちろん大連独自の「浜城」文化を舞鶴の皆さんに紹介したいと思います。舞鶴と大連の絆を深め、両市の市民交流の架け橋となれるように、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします！